

非常時日本と社會事業の使命

日本女子大學教授 生江孝之述

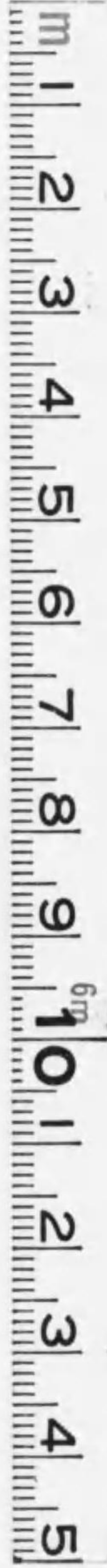
財團法人 山口縣社會事業協會

721
特 253

636

3

4

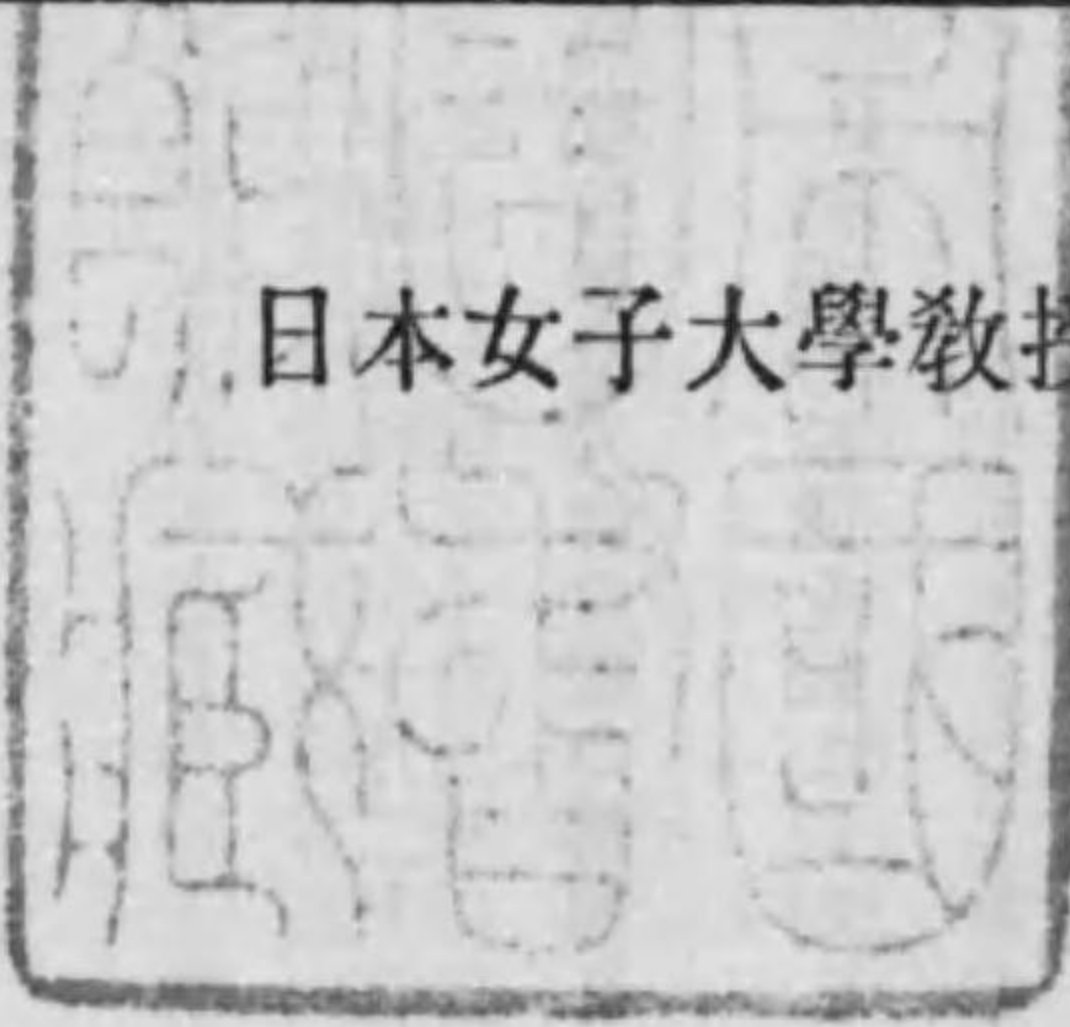


始



特253
636

非常時日本と社會事業の使命



日本女子大學教授 生江孝之述



財團法人 山口縣社會事業協會

本篇は昭和八年十月二十日山口市公會堂に於て舉辦せられた山口縣
社會事業大會の際の講師日本女子大學教授生江孝之氏の講演を速記
し同氏の校閲を経て印刷したものである。

非常時日本と社會事業の使命

日本女子大學教授 生 江 孝 之

世界的非常時

私は只今より非常時日本と社會事業の使命と題してお話を致したく存じます。非常時日本と申しますが、非常時は單に我が日本に極限された問題ではなく、それが世界的であると申上げることが出来るのであります。それで非常時日本に就てお話を致すに先達ちまして、世界的の非常時が何であるかを大體申上げる必要があるかと思ふのであります。併しながら私はその方面の専門的學者ではなし又時間に制限を受けて居ります關係上、世界的非常時の内容に就て一々申上げることが出来ないであります。然し大體現在の世界的非常時は何に基いて居るかを申上ぐれば、一つは現在の經濟機構に依りますものと他は世界大戰及大戰以後の政治工作、經濟工作の結果に依るものと申すことが出来ると思ふのであります。

然らば現在の經濟機構が何が故に斯る非常時を招來したかと申しますのに、それは現在の經濟機構は一面非常な長所を有するのであると共に、その反面にまた短所があるからであります。其の長所は申迄もなく、現在の世界的文化即ち無限大に擴大されつゝある各般に渉る學術の進歩と之に伴ふ交通の發達

の如き其の一例であります。今日程交通の發達した時代は歴史上未だ曾て見たことはないであります。汽車、自動車、飛行機などは姑らく置きまして、無線電信、電話、若くは特に「ラジオ」、是も廣き意味に於て交通と申すことが出来るが、實に驚歎すべき發達であります。歐羅巴の中心から分秒をも違はずに肉聲を聴くことが出来るのであります。過般松岡全權の獅子吼を聴くを得たのも之がお蔭である。それが文明の惠澤でありますが、この歎美すべき惠澤に浴し得るのは此現在の經濟機構が齎したものであります。之が明らかにその長所であります。併しそれと共に遺憾ながら其の反面に短所の存在することも見逃すことが出来ないであります。其の短所は何であるか、それは多々あるのであります。其の一つは週期的經濟恐慌と云ふことであります。然らば之は何であるかと云ふのに循環的に不景氣が来ると云ふことであります。即ち現在の經濟組織の下に於ては五年なり七年なりの間に必らず不景氣の襲來を免がれないと云ふのであります。

併しながら此の循環的、若くは週期的の經濟恐慌、即ち不景氣と云ふものが、經濟機構の運用が健全であれば、直ちに恢復することの出来るものであります。若し御互が一寸病氣に罹りましても、身體が健康で、弾力性があるならば、それが直ちに恢復するのであります。若し其の身體が非常に虚弱であるか、或は衰退に陥つて居るならば、同じ病氣に罹りましても其の恢復が非常に困難である。之と同じやうに經濟恐慌が、週期的に参りましたも、他の經濟状態が健全であるならば、それは決して恐るゝに足らないのであります。今日までさう云ふ意味の經濟恐慌は屢々起つたものであります。そしてそれが一

時的恐慌で済んだのである。併しながら今日の非常時と申します世界的の此の恐慌は單なる週期的の經濟恐慌ではないのであります。是は世界大戰から齎したものである。又戰爭後に於ける經濟工作、及政治工作が遂に斯かる經濟恐慌を招來したものであると思はれるのであります。それで這次の經濟恐慌は、週期的經濟恐慌とは其の趣が違ひまして、殆んど無軌道的なもので、非週期的なものであり、慢性的になる傾むきがあるのであります。それは此の恐慌が何時終末になるかが、誰人も殆んど豫測することの出来ないであります。之が即ち世界的非常時だと申し得ることが出来る理由なのであります。

非常時の原因

然れば何が爲に世界大戰が斯も非常時の恐慌を招來したかと申しますならば、是は申迄もなく、一面此の五ヶ年内外の戰爭に依る經濟的財政的の大なる打撃、そして此の打撃は戰勝國、戰敗國の何れを問はず殆んど同様の受難でありましたが、無論戰敗國に殊に多かつたのであります。然るに戰勝國がその戰爭に依つて生じた巨大の損害を戰敗國なる獨逸に賠償せしめんとしたのであるが、之が世界の恐慌を招いた一つの理由であります。併しながら其の他にも種々重大な理由があります、それは單に戰爭それ自身でなしに、所謂平和克復の際に於ける政治工作とでも申しませうか、小國の民族自決と云ふこととあります。それが今日から云ふならば一大禍根を爲したと云ふことが出来るのであります。歐羅巴諸國の存在は無論經濟的の見地からのみ考へることは出来ないであります。戰爭以前の歐羅巴は、大體

上經濟力を基礎として獨立國が成立つて居つたと云ひ得るのであります。

併しながら平和克復の際に民族自決と云ふことになりました關係上、小國が經濟的獨立と云ふことは没交渉に單に民族を基礎として獨立するに至りましたから、歐羅巴が經濟的に非常な行詰を來たしたと云ふことも大いなる原因であります。

そこで民族自決の立場から獨立した小國は各々其の國を獨立國として維持する必要上、其の終局に於て、經濟的に自給自足を爲さねばならぬやうになるのであります。それで小國は已むを得ず競ふて自給自足をやる事となつた。自給自足とは云ふまでもなく自分の國は自分だけで間に合はせる、そして成る丈外國から品物を輸入しないやうな方策を探る事であるが、之には關稅を高くせねばならぬ事にもなるのである。そうなると結局小國自身が困りますが、之と共に大國も亦非常な困難に陥ります。尤も大國の經濟的財政的の困難は小國の民族自決にのみ依るものではない事は明らかであるが、然も經濟力に重要性を置いた歐洲獨立國が單に感情的な民族本位の獨立國となれば、自然大國の經濟力に大打撃を受くるのは明らかである。即ち英國のやうな機械工業が發達致し、特に鐵或は石炭とかと云ふものが、其の國の資源であります國は、外の國よりも尙ほ大きな打撃を受けるやうになるのであります。それは石炭も歐羅巴大陸には賣れず、鐵の販路も非常に制限されたのみならず、英國で作りましたる製作品が歐洲は勿論亞米利加にも賣れないし、其他自治領である濠洲、「ニュージールランド」、加奈陀と言つたやうな地方にも其の販路が色々の意味に於て制限されるやうになつたのであります。さう云ふことは詳しくお

話する時間がありませんが、兎に角制限されて賣れなくなりしました。

それに英國は御承知の通り都會人口が總人口の八九割を占め残る一二割が農村に住んで居るのでありますから食糧品はどうしても外國から輸入しなければなりません。即ち自分の製作品は外に賣れず、食糧品は是非輸入せねばならないと言つたやうになりますれば、英國は財政的に經濟的に立行かぬやうな状態になるのは蓋し已むを得ないのであります。それならば東洋に販路を求め得るかと云ふに、支那四億の國民は二十年來内亂の連続でありますから、英國品を買ふだけの餘力は無し、露西亞は、御承知の共產主義の國家で、「プロレタリア」の獨裁政治を行つて居り、且つ一九二三年から五ヶ年間に渡り尨大な經濟設計畫をなした關係上、英國との貿易關係も亦殆んど杜絶して居る状態であります。更に印度は英國の屬領ではあります、そこに又政治的經濟的の色々の問題がありますし、印度自身は非常に貧困状態に陥つて居りますから、立法的彈壓でも無い限りは英國の製作品のやうな高價なものを買ふことは民力が許さぬので、英國は經濟的、財政的に非常に悲惨な状態に陥りまして、遂に非常時を招來するに至つたのだと大體から申得ることが出来るのであります。

次は亞米利加であります、亞米利加は世界大戰の終りました時は、世界の富の半分は亞米利加に集つたと言はれる程の大成金國となつたのであります。それから後に多少の異動波瀾はありましたが、十數年此の方萬年繁昌を來したのであります。歐羅巴諸國がどんなに衰退しても亞米利加だけは經濟的に、財政的に決して破綻若くは衰退するやうなことはなからうと思はれて居つたのであります。然るにその

米國が今日歐羅巴にも匹敵するやうに、或る意味に於ては歐羅巴よりも尙ほ悲惨な經濟的打撃を受けるやうになつて居るのであります。それはなんのためであるかと申しますと、是も色々の難かしいことがあります。亞米利加に於きましても關稅を高く致しまして、歐羅巴や、日本の品物も入れないやうにして、成たけ自國の産業で自國民を保護して行かふと言つたやふな政策を採つたのであります。所がそれが一時成功したかのやうに見えましたが、結局非常な破綻を爲す基礎を成したのであります。

その理由は、亞米利加のやうな、資本國は不變資本即ち多くの精巧な機械を使ひまして、可變資本即ち勞働者を成たけ省くと云ふ事に全力を盡して居るのであります。そしてその機械力に依る大量生産を出来るだけ、他に販賣すべく、あらゆる方法を講じて居るのであります。若しそれが成功しなければ其の機械力に依る大量生産は直ちに過剰生産になるのであります。例へば日本で云ふならば、今日豐年饑饉と呼ばれて居りますやうに、亞米利加で作つた大量生産が外國へ販賣出来ぬとなれば亞米利加人だけでは到底それは消化し得ないことになります。さうなりますと、所謂豐年饑饉と同じやうなことになりまして、結局亞米利加のやうな世界の富の半ばを所有すると云はるゝ國でも、生産が貨幣化しない關係上遂に經濟破綻を來たすことになつたのだと大體申し得ることが出来るのであります。遂に米國も亦金本位制を一時停止するにさへ至つたのであります。故に直接の原因としては經濟機構の自然の結果に依る此の恐慌と、それから世界大戰から受けた此の影響が遂に今日の非常時を招來したのだと云ふことが出来るのであります。此の非常時は決して單なる日本の特有ではなしに、世界共通のものであると云

ふことを大體に於て申すことが出来たと思ふのであります。

我國の非常時

そこで歐羅巴大陸が非常時である、亞米利加のやうな國でも非常時である、然れば日本が如何なる状態に在るか、如何なる意味を以て非常時であるかと云ふことは更に私等の検討を要すべき重大なる問題であります。日本の非常時の中には今申しましたやうな世界大戰の影響の存することも明らかであります。世界大戰が色々な意味に於て經濟的破綻を招來した結果、日本の生産物が外國に賣れない、例へば生絲が亞米利加に賣れない、若くは非常に安い値段でなければ賣れないと云ふことになりまして、日本は之れ丈でも直ぐ經濟恐慌即ち不景氣を來たす譯であります。でありますから一面に於きましては世界大戰の結果、日本にも非常時を來たして居るのであります。尙之に加へて日本に於ける非常時と云ふのは、滿洲事變であり、又農村の窮乏問題等があります。

滿洲事變に付きましては私は軍事工作に對しまして何等の知識もありませんから茲で申上げる力はありませんが、私は前後三回滿洲に參つたことでもありますし、此の春も滿洲に參りまして獨立後の滿洲國の姿を見たのであります。即ち約三週間程滿洲に滞在致して軍事工作或は政治工作等に關しても多少の調査を試み又滿洲國將來の大方針に就ても朝野の名士に會ふてその抱負と理想とを伺ふたのであります。然し私は此等に關し今直ちに判斷する力も無し、又判斷せんとするのは早計だと思ふのであります。

るが、併しながら私が調査し見聞した所に依りますと、滿洲事變の起りましたことは已むを得ざる必然的のものであつたと云ふことを私は良心に於て肯定したのであります。過去に於ける張作霖や張學良の軍閥、それが滿洲人に對する極度の搾取、暴政及び日本國民並に皇國軍隊に對する蔑辱、横暴等到底忍ぶことの出来ないものがあつたと思ふのであります。日本國民が滿洲に於て張作霖、若くは張學良などと云ふ軍閥から極度の蔑辱を受けたと云ふことを肯定し得る當時に於て、滿洲事變の起つたことは已むを得ざる必然性かと思ふのであります。そして一度滿洲事變が起りました以上は、此の問題を徹底的に解決する爲に、遂に滿洲國の獨立を助け、又滿洲國民自身が進んで獨立するに至ることは、必然的の結果であると思ふのであります。滿洲國が果して、近く王道樂土を造り得るか否やは今直ちに判斷し得ないのであります。併ながら滿洲國に對する日本人の責任は非常に大なるものであるし、さうしてそれが東洋平和の爲にも極めて重要な位置に置かれて居りますことは私から申す必要はないと思ふのであります。斯かる結果として滿洲事變は單に日滿兩國若くは、日支兩國の問題ではなしに、即ち世界の問題となり、國際聯盟の問題になり、松岡全權が力の限り精神の限りを盡して、滿洲の位置、滿洲の實狀、日支兩國間の多年の關係を力説致しましたが、遂に國際聯盟の了解する所とならず、遂に涙を以て聯盟を脱退するに至りましたことは蓋し止むを得ざる最後の手段であつたと思ふのであります。既に國際聯盟を脱退致しました以上は、さうして滿洲國が眞に實力ある獨立國となりますまでは、今後更に幾年、日本が滿洲國を援助せねばならぬ事は必然の事であり、之がためには我が國民は非常な覺悟を要すべきで、之は新たな意味に於ての日本の非常時だと申して宜しいと思ふのであります。

我國に於ける農村問題

もう一つの問題は農村の問題である。日本の農村、是は世界に比類のない特異性を持つて居る問題であります。日本の農村問題を解決し得る人があるならばそれは實に經濟的政治的に世界的の偉人であると思ふのであります。現在の經濟機構の下に於て日本の農村問題を完全に近い程に解決することは非常に至難な問題なのであります。私はそれに對する専門家ではありませぬ、併しながら常識を以て考へましてもそれは妥當であると思ふのであります。

それには色々の理由がありますが、第一は日本の耕地面積が非常に狭いことである。それは全面積の一割五分内外しかなく、これは御承知の通りであります。全面積の大部分は山であるとか、川であるとか都會であるとかであります。又日本は實に景勝の地であります。世界中で景勝の地と稱せらるゝのは、歐羅巴の「スイツツル」と南太平洋の「ニュージーランド」と、極東日本であります。それが即ち世界三大景勝の國であります。世界の景勝の地を以て鳴つて居る日本が、その耕地は全面積から申せば單なる一割五分内外しかないのであります。従つて一軒に住んで居ります人口が耕地面積の限りに於ては約千人であります。是は何れの國にも、斯くも密集した國は絶對にない。是れが日本農村の非常な特異性の點であります。

もう一つは所謂米作である。米作と云ふものは日本独自の嗜好に依つてのみ出来たものでありまして他の國民には全く没交渉の嗜好であります。従つてこの米作と云ふものが日本に於ては非常な重要なものでありまして、全體の耕地の五割四分が米作のための水田に當つて居るのであります。それから畑地と云ふものは大體上米作に適しない土地を當てはめる傾向がありまして、苟くも、米作に適するならば總て之を米作にしやうと云ふので、之に重きを置いて居ります。そして現在既に五割四分に達して居るとすれば、米作は或る意味に於て日本の農業を窮地に陥入れて居るのだと言ひ得るのであります。更に耕地面積の五割四分に當ります此の米作、所謂水田と云ふものは是は機械力を應用することの出来な性質のものであります、何時迄経つても手工業的以外の耕作は出来ないのである。牛馬を耕作に使用する程度には達し得るのでありますけれども、大農主義には出来ないやうになつて居る。又日本は元來大農的の農業には大體上不可能少なくも極めて不適當になつて居りますが、兎に角米作、それ自身が理論的にも實際的にも大農主義と云ふことが出来ない状態になつて居りますから、此の米作を本位に致して居ります日本の農業は技術的には多少現在よりも進歩の途はあるでありませうけれども、根本に於て機械力を用ひ得ざる關係上現在の經濟機構下に於ける農業經營には非常な矛盾があるのであります。併ながら若し又現在の機械力を應用して大農的農業を營み得ると假定すると現在の農村人口の半數、若くは三分の二が不用になる。假りに日本の内地の人口を六千六百萬と致しますれば、其の三千三百萬内外が農民であると致しまして、其の二分の一の千五百萬人、或は三分の二の二千萬内外は農村に存在

する必要がなくなる。若し必要がなくなるとすれば農村から主として大小の都會に移住せねばならぬ。とすれば是又更に大きな社會問題となるのであります。それで日本の農村は人口に關する限りどうすることも出来ないのだと遺憾ながら言はざるを得ないのであります。殊に日本は家族制度である。其の點は非常に貴いものである。外國人などが日本の家族制度に依つて學ぶべきことが甚だ多々あるのであります、けれども、此の家族制度が或る一面に於ては遺憾ながら弊害を招來して居る。殊に農村に於て然りと云ふことが出来ると思ふのであります。

我國家族制度の長所は今茲で申述べる必要はないと思ひますので申させぬが、家族制度の短所は何であるかと申しますと、それは現在の如き經濟的恐慌時代に現はるのであります。その一つは失業問題との關係であります。日本の失業者數は政府の報告に依りますと約五十萬人、最近では四十二三萬人を上下すると云ひます。失業とは何ぞやと云ふ事はその定義の内容にも依りますけれども、日本では失業の結果田舎に歸つた者は大體に於て失業者と勘定しないやうであります。是は家族制度の爲であります、外國では失業者が田舎に歸り親の家に同居して、その儘扶養を受くると云ふ事は習慣上、又制度上之を許さぬのであります。外國に於ては大體上失業者は失業者として相當な給付を受け、若くは生活扶助を受くる事になつて居ります。

けれども日本に於ては都會に於て失業した者は家族制度の故を以て親の許に歸ると云ふことになる。其の數はどれ程あるか判明しませぬが、現在百二十萬人内外はがあると學者は云つて居ります。是は恐る

べき数字である。少くとも百萬人はあると思ふのであります。此の百萬人の人口が田舎に歸る、今ですら飽和状態でありませう農村に於て、失業した百萬人の人間が都會の失業状態から免かれやうとして農村に歸る、然らば農村に於て仕事があるでありませうか。それは彼等に與へる仕事は絶対にないと申しても宜しいのであります。唯日本人は外國人とは違ひまして、極度に生活を低下することが出来る、是は支那人でも朝鮮人でも、日本人でも極度に生活を低下して、それは榮養不良に陥つても、辛棒をし得る所の忍耐力があるからでありますけれども、若し外國人のやうな考であれば、到底農村のあゝ云ふ生活状態では満足は出来ないであります。

一體生存と生活とは其の内容が違ひまして、生存と云ふのは、單に生きて居ると云ふことであります。人間は此の生存だけでは満足は出来ない。生活しなければならぬ。生活とは、修養教育娛樂など云つたやうな、人らしき生き方をするのを云ふのであります。今日三千萬の農民が眞の意味に於て生活して居るのであるかどうかを考へます時に、それはその大部分は辛うじて生存はして居るが、生活はして居らないと云ふても宜しいのであります。其の場合に百萬なり百數十萬人の仕事のないものが農村に歸る、何か仕事があるかと云ふと實は無い、然し私は皮肉ではありますが、仕事はある、其の仕事は何であるかと云ふと親の脛をかじると云ふ仕事だと云ふのであります。親の脛をかじる以外に仕事のないやうな悲惨な状態に陥つて居る現下の農村に於て百萬内外が新たに加つたと云ふことは更に一般の疲弊を農村に加へねばならないこととなるのであります。之が家族制度の弊害であります。

其の外に所謂小作争議と云ふものがある、世界にないもので日本にありまするものは色々ありますが其の内の卑近な事柄を申しますと三つある、それは學生騒動、親子心中及び小作争議であります。之らは世界にないのであります。學生騒動は支那にもある、それは日本から學んだものであると思ひますから、學生騒動が頻繁にあるのは、是は日本の特徴である。遺憾なる特徴である。もう一つは親子心中である。此の親子心中は人生是程悲惨なものはない、自分の愛する子女を自分の手で殺して、それを親子心中と名付けて居るが、それが年に六七百人もあると云ふ悲惨な事實は世界の何れに於ても古今を通じてないのであります。唯だ親子心中と云ふ此の悲惨の事實が日本だけに存在するのは何を意味するのであるか、親が子を受することは人間の至情である。併ながら其の至情を親が如何に其の子に對して現はして居るか問題である。それは間違つた愛も含んで居るのでありますけれども、其の内の三十五％は貧困の爲にである。自分が是程努力してもどうしても生活の途が立たない自分が生きて居つても暮しの出来ないやうな悲惨の状態に置かれて居るのに、自分だけ死んでは、其の後、此の子供達の將來は更に不幸であらうと云ふ其の至情、其の至情の故を以て其の子供を殺さねばならぬと云ふ不幸の事實が頻發して居りますのであります。然るに我々はそれに對して今や殆んど慢性的になりまして、斯る慘事が頻發致しましたが、餘り多く念頭にも掛けないと云ふ状態であります。

もう一つは小作争議である、日本に於ては地主と小作人とは從來は主従や親子のやうな状態に置かれたものであります、その是非に就ては今日議論の餘地があつてもそこが日本の特有性であつたのであり

ます。然るに今年に何千と云ふ小作争議が頻繁に起つて居ると云ふ實狀は單なる思想問題だけでなく、是は經濟的に小作人が立行かぬためであり、然し實は立ち行かぬのは小作人許りでなく地主も同様で、詰り兩方が立行かないのであります。それで現下の状態に於ては小作争議は地主だけが悪いのではなく、また小作丈が良いのでもない。是は善悪の問題ではなく、何れもこの儘では食べられないと云ふのが農村の悲惨な状態から起るのでと云ひ得ることが出来るのであります。

更に又税金の如きは都會のそれよりも二倍以上高くなつて居ると云ふことであります。都會の税金は帳簿を土臺にして居るが、農村の税金は大體收穫を土臺にすると云ふ状態であり、其の他に色々の理由もあります。重い負擔を免かれたいと言ふ状態である。それに五十億萬圓の負債もあつて、どうすることも出来ない。五十億と云ふ負債は一戸平均八百圓若くは千圓と言つたやうな大體の負債になるので、どうして農家が立行かかと云ふのが現在の状態のやうに思ふのであります。私は前に申しました通り經濟學者でもない、或は農學者でもありません。然し常識を以て或は多少の見聞の範圍を持つてしても私の申したことは必しも妥當を缺いて居るとは信じないのであります。斯かる状態の下にありますが日本の農村は即ち非常時日本と云ふことの内に含むものだと思ふのであります。

非常時日本と日本民族性

そこで今申しました非常時日本、或は世界的の非常時と云ふものは何を招來するか、と申しますなら

ば、一つは思想問題であり、他の一つの直接問題は失業問題である、此の失業問題と云ふことは非常に憂ふべき問題であります。前にも申しました通り此の機械工業に依つての製作物が賣れない、それが貨幣化しない、賣れても非常に安いと云ふことになる、是では大體上労働者を減すと云ふ外に途はないのであります。其の意味に於て英國では約三百萬、獨逸では六百萬人、亞米利加では千萬人乃至千二百萬人が失業して居るのであります、國際労働事務局の推定に依れば總計三千萬人の多きに達すと云はれて居るのである。若し之が家族を加へますと少くとも倍數になる。この意味で亞米利加では約二千四百萬人即ち總人口の二割が斯る状態の下に在つて衣食に窮して居るのであります。日本だけが五十萬人で済んで居ると云ふのは日本だけが或る特殊の恩恵に與つて居るのでなく、前に申しましたことが間違でないならば、日本の失業者の大部分が田舎に歸つて親の脛をかじつて居るのであると云ふことを想像しなければ、日本の失業問題の解決が出来ないのでなからうかと思ふのであります。政府が農漁村問題を非常時問題として重大なる關心をそれに持つやうになり、現内閣が或る一面に於て其の爲に起つたかゝる如くに考へますのも、農村の窮迫其の極に達したならば日本國家の將來を如何にせんと云ふ此の大きな問題が横つて居る爲だと考へるのであります。

以上の事柄では非常時日本を明確に致す上に於て甚だ物足りないやうに思ひますが、是は専門外のことであり、徹底を缺いて居りますが兎に角私等世界的のそして日本の非常時に直面して居ることとは事實であります。それで之を如何に解決せねばならぬかと云ふことになれば、政治工作、經濟工作

或は軍事工作等に於て重大な役割を持つて居ると言はざるを得ないと思ふのであります。併しながら是等の大問題は何れもそれ／＼専門的なもので、且つ至難な問題であるから専門外の私が僅かの時間で斯る問題に對し意見を披瀝せんとするは無論不可能であり且其の人でも無いのであります。併しながら私は單に結論を申さば、私は斯う信ずる、日本人は其の個人としては、種々な關係もありませうけれども、遺憾ながら失望し易い、若くは絶望しやうい性質の所有者である。容易に仕方がないと觀念する。此の仕方がないと云ふことは支那人にもありますが、支那人の仕方がないと云ふことは、眞に進退兩難に陥つて萬策盡きた時が、運命には到底抵抗が出来ぬと觀念した時である。然るに日本人は仕方がある、途は幾らも他に殘つて居ると思はるゝ時でも仕方がないと云ふ。今申した親子心中の如きも仕方がないと云ふ結果であります、私は日本人の爲に非常に之を遺憾と思ふ、日本人は個人としては斯く絶望し易いが、併しながら日本民族は民族として未だ嘗て絶望したことがない、そこに日本民族の特異性があり、そこに日本民族の強靱さがあると思ふ。そこで私が農村問題 或は非常時日本の面影を諸君の前に提供し、そこに絶望の姿が現はるゝやうにも思はるゝのであります、併し日本民族が未だ曾て絶望したことがないと云ふことを前提として考へたのであります。私等が一大決心の下に、大いなる活路を見出し得ることを信ずる次第であります。そこに、日本民族の強味があるし、日本人の日本人たる理由が又存するのだと思ふのであります。

若し萬一にも日本民族が絶望すると假定すれば、是は世界的の大事變であります。即ち日本民族の

問題でなく、東洋全體の平和に大關係を有つのであります。日本民族が嚴然として存在して居る故に、東洋の平和惹いては世界の平和が維持されて居るのであります。この大使命の故を以てしても日本民族は絶望すべきではない、過去の歴史が明らかに之を證明して居る、従つてどんな困難な場合に直而しても最後の活路を天の一方に望んで、そこに我が民族の行くべき途のあることを信じ、特に如何なる場合にも其の終局に於て天祐の裕なるを體驗し又之を信念して居る事は疑がはないのであります。

非常時日本の打開策の一としての社會事業

この非常時日本の打開策の一方法として考へなければならぬことは所謂社會事業の使命であります、社會事業に依つて此の國難の全部を解決しやうとは誰も信じて居らない。斯く重い負擔を一つの國體か制度か背負つて起つことは出来ない問題であります。併ながら私等は各々自分等の使命がある、各々自分等の本分があるのである、其の使命に生き、其の本分に起つて居る所の私等社會事業、若くは社會事業家として、斯かる場合に何をなさねばならぬかを考へますことは當然の義務であり責任であると信ぜざるを得ないのであります。

併し社會事業と云ふものは非常に制限的なものであります、今私が茲に一々申上けることは出来ないであります、制限的と申しますのは社會問題と云ふ廣い範圍から云ふならば、社會事業は其の一部であると云ひ得るのであります。でありますから社會事業が完成されたとしても社會問題の全部が解

決されたものではありません。社會問題の解決としては社會政策に關するものが多い。例へば英國に於ては……英國だけでありませぬが、失業保險法を制定して居ります。此の失業保險法を制定した國は英國が初めてであります。之が制定は一九一一年でありますから今から恰度二十二年前であり、それから一九一九年(大正八年)に第一回國際勞働會議が米國華府に開催されましたが、その際失業問題が重要な一項として論議された結果、其の後失業保險法は重なる諸國に於て制定されるに至つたのであります。亞米利加は色々な理由に依つて、大體上社會政策は行はない國であります。が歐羅巴に於ては何處の國に於ても失業保險法がない所はないと申しても宜しいのであります。日本には未だ失業保險法はありませんが健康保險法はあります。それは機械工業に従事して居ります職工を土臺として約二百萬人に對して實施されて居るのであります。其の外には社會政策的には見るべきものはありませぬ、でありますから斯う云ふ非常時に對しましては徹底的の社會政策を行ふことが必要であると私は信じます。社會政策無しに單なる社會事業だけでは到底斯う云ふ問題の解決は出來ないのであります。さうすれば社會事業の範圍と云ふものは非常に狭く、又其の力も微弱なやうに思ひますけれども、それは決してさうではありません。社會政策だけで此の問題の解決が出來ないと同じやうに、社會事業だけで此の問題の終結を見ることが出來ないことも亦明かであります。そこで今失業保險の問題に就て申しますと云ふと、是は一面に於ては政策的に非常に必要であります、この社會立法に餘り重を置いたと云ふことが英國の財政の上に現在非常な痛手を負ふて居る一つの理由なのであります。それで英國に於ては此の失業

保險の爲に現在十億圓を國庫が支出して居ります。其の理由を極めて簡単に申せば、英國の失業保險法は大體上失業者百五六十萬人までを限度として組立てられて居りますが、現在は遙かにその最大限を超越して三百萬人になつて居る、それで組立の基礎が既に破壊されたので其の部分を全部國庫から補給しなければならぬと云ふ所に政府の負擔が非常に重くなつたのであります。尙それだけでは間に合ひませぬで、英國が千六百一年即ち今から三百三十年程前に出來ました救貧法と云ふものがあります。是は日本の救護法と同じやうなものであります、此の救貧法に依て支出する金額は昨今實に五億圓近くに達して居ります。日本では救護法に依る支出額は約六百萬圓である、人口に於て二千萬人程少ない英國に於て五億圓の救助費を支出しなければならぬと云ふことは驚くべきことである。其の外に養老年金法と云ふものがありますが、是は千九百八年に出來たのでありますから今から二十五年程前になる。それも矢張り六、七億を國庫から支出して居る。さうしてそれに該當する七十歳以上の老衰者が百五十萬人程ある。そこで英國は廿世紀に成つてから社會政策に精進しましたが、是が非常時でない時は宜しいのであります、非常時の今日に於ては總ての基礎が違つて來た爲に、英國の財政が之がために非常な困難に陥つて居るのであります。

又それならば亞米利加はどうであるかと云ふと、失業保險法もありませぬから、それはどうするかと言へば是は失業者を保護する爲に臨時の支出を要するのであります。昨年は五十億圓程を使つて居るのであります。それだけでも非常に大きな金額であります。さう云ふことでもしなければ治らない、そこ

で日本に於きましても非常時日本として農漁村の匡救を致すやうになりましたのも蓋し己むを得ない自
然的、若くは必然的の現象であると言はざるを得ないと思ふのであります。

そこで此の非常時と云ふ場合には社會政策が徹底して居るために財政上假に非常な困難に陥ることも
亦己むを得ない不幸な事柄であります、併ながら日本のやうに社會政策が殆んど實施されない國に於て
は出來得る丈社會事業を擴充して之を補ふ以外に現在殆んど途はないのだとも言ひ得るのであります。
でありますから日本では社會事業で之に對應して行くと云ふことが、先づ政府當局の方針であるとも言
ひ得るでありませうし、又私等も其の意味に於て社會事業家の任務は歐羅巴のそれよりも更に大なるも
のであると云ふことを覺悟しなければならぬと思ふのであります。

社會事業發達の趨勢

それならば如何なる社會事業が必要であるか、是は都會と農村に於て色々に考を異にしなければなら
ぬのであります。あなた方は農村からお出でになつた方が多いでありませう。之を山口縣全體としてお
互に考へて見まする時に、無論都會に於ける種々なる社會施設の必要なることは申迄もないのでありま
す。今日日本に於て、どれだけの社會施設があるかと云ふと、大正七年と昭和五年とに於て考へて見ま
すと、其の間に驚くべき相違がある。先づ大正七年の場合を申し上げますと、社會事業は大體七百六十
しかありませぬ、さうして其の内の六十は公設であつて、他の約七百内外は私立であつた。大正七年迄

の我が國の社會事業は篤志家の篤志に依るものであつた。そして、之に要する經費總額七百萬圓位しか
なかつたのであります。所が昭和五年はどうであるかと云ふと、社會事業の數は五千四百に達して居り
公立は全體の三分の一、私立は三分の二の割合となつて居ります。そして之が經費は國庫支辨のものが
大體千六百萬圓、それから公共團體、即ち府縣若くは市町村などと云ふものを加へますと六千五百萬圓
それに私立の團體の三千二百萬圓を加へると合計一億千萬圓程になるのであります。そしてそれが社會
局主管の下にあるものを云ふのであります、尙ほ文部省主管の種々なる事業、例へば盲啞學校であると
か貧兒教育であるとか、缺食兒童等の八十八萬圓と云ふものはそれに入つて居らぬのであります。又司
法省の少年法等に依ります少年保護施設及釋放者保護事業、之は現在七百もありませんが此らはその
中に含まれて居らぬのであります。それをも加へましたならば、其の施設約一千經費は更に千有餘萬圓
を増加するのであります。之等を凡て加算すれば昭和五年に於ては一億三四千萬圓に達するかと思はれ
ます。

大正七年は世界大戰の終熄した年であります、それから十數年後の今日に於て、是だけ社會事業が擴
大致し、膨脹致し増額致したのであります。是は絕對數は別として比例的に申すならば世界に其の類を
見ない程の驚ろくべき増大であると思ふのであります、そしてこの中經濟的保護と云ふのが全體の三分
の一乃至四分の一強を占めて居ります、政府も民間もそれに多大の努力を拂つて居るのだと云ふことが
出来るのであります。經濟的保護と云ふものは職業紹介事業、住宅供給事業、宿泊事業、公益質屋、公

益市場等で主として都會中心であります。さうして公共團體の經營が其の大部分を占めて居るのであります、即ち公設事業であり、都會中心の事業であります、それで經濟的保護事業と云ふのが大正七年以後最も大いなる發達を成したものでそこに政府の方針があり、そこに經綸があるのだと大體から申して宜しいのであります。是は大正七年以後の社會問題は經濟問題であり思想問題であるのと、この大きな問題に對して我國では社會政策的に解決する途は出來兼ねたのでありますから、社會事業に依つて之を解決しやうと言ふ考へが意識的に若くは無意識的に働らいて遂に經濟的保護事業に力を致すやうになつたと言ひ得ることが出来るのであります。

そこで今日の社會事業は大部分大正七年以後に發達したのだと云ふても宜いのであります。無論今日に於て之が完備の域に達したのではないが、併しながら其の方面に多くの力を盡したことは事實が之を證明するのであります。然し其の間に於て閑却されたもの、若くは問題外に置かれたものが所謂農村問題其のものであつたのであります、所が最近御承知のやうに種々錯綜した問題、政治的にも經濟的にも若くは思想的にも色々の複雑したる問題が起りました、農村を閑却することが出來ないと云ふやうなことに成つたのであります。そして此の數年の間に農村問題が非常に重大なる問題になりました、農村の生活状態を改善しなければ日本の非常時の解決が出來ない、若くは農村の窮乏其のものが日本の非常時の重大性を持つて居るのだと思はれます程に農村問題に對し官民共に非常な關心を持つやうになつたのであります。

農村に於ける社會事業

私が茲で申上げたいと思ひますことは都會中心の經濟保護と云つたやうなものに對しまして、短い時間でお話することは困難でありますから、そしてそれは既に充實、若くはそれに近いものと致しまして、今後農村に發達すべきものは何であるかを申したいのであります、併し私の知つて居る範圍に於きましては山口縣の如きは早くから農村問題に關心を持たれ其の意味から云ふならば日本全國に率先して農村問題に注意された縣でありますことは喜ばしき限りであります、従つて其の農村問題に大なる關心を持たれ、其の關心に伴ふ施設がありますので、私は山口縣に参りまして農村に於ける社會事業は何であるかを申上げる必要はないかと思ふ程であります。山口縣は農村の状態、特に之を東北の状態に比較して見ますと、雲泥の相違があります。此の夏私は久し振りで北海道に参りました、一體私は仙臺市の生れでありまして東北の事は多少知つて居る譯であります、此の農村問題と申しても、之を關東以北のそれと殊に山陽地方の農村問題と比較致しましたならば、其の間に多大の相違のあることを見出すのであります。其の内に於て此の山口縣は矢張り山陽の一角であるのみならず、更に農村問題に對しましても北海道や宮城縣の状態に比較致すならばそこに多大の相違のあることは明かであると思ひます。斯る状態を考慮しつゝ私が農村に於て如何なる社會施設が必要であるかを時間の許す範圍に於て簡単に申上げたいと存じます。

方面委員制度

是は先づ第一に方面委員制度を挙げなければならぬと思ふのであります。方面委員制度は大正六年に岡山縣に於て濟世顧問として起り、大正七年に方面委員制度として大阪に於て起つたのであります。是は諸君の御承知の通りであります。それが今日に成りましたは兎に角方面委員の數は三萬乃至三萬五千人の多數に達すると云ふ程に非常な激増をなしたのであります。是は世界に類がない、歐羅巴に於ては獨逸に日本の方面委員に似たやうなものがありません。それは獨逸のエルバーフェルド救濟制度であります。是はどうして出來たかと云ふことは既に御承知の事と信じますので省略致しますが、兎に角日本の方面委員は之に對照しても或る特異性を持つて居るものであります。是が全國に普及致しまして三萬五千人にもなりましたのは一面救護法の實施に伴ふためであります。

此の方面委員の重大な任務は市町村何れも同様であります。殊に此の散在して居ります農村に於ける活動が必要なので、この活動如何が其の地方の救濟保護の上に多大の影響のありますことは申迄もないのであります。山口縣に於ては千五百人の方面委員があると云ふやうに聽いて居りますが、而も山口縣には婦人方面委員が三百人内外お在りのやうに聽いて居ります。それは外に例がありません。無論他の府縣でも多少の婦人はありますけれども、一縣の内に婦人の委員が數百に上ると言つたやうな處は私の知り得る限りに於ては外の地方にはないのであります。それだけでも特異性を持つて居ります。彼

のエルバフェルド救濟制度は七十年程前に起りましたが、最初は婦人を委嘱しなかつたのであります。二三十年程経つてから、婦人をも加へたやうに思ひます。日本に於ても最初は婦人を考へて居らなかつたと言つても宜いのであります。山口縣が斯く多數の婦人を委嘱されたのは非常に英斷であり、先見の明があつたと思ふのであります。

方面委員が熱心に活動しなければ、農村の隅々迄の所謂カード階級の人々を保護することは絶対に不可能であると言はざるを得ないのであります。此の方面委員制度は山口縣では最初社會事業協會に於て施行して居つたかのやうに記憶して居りますが、現在に於ては山口縣が此の方面委員制度を施行して居らるゝと云ふ事でありませう。縣知事が委嘱されるであらうと思ひますし、都市では市長が委嘱されるのであります。是等は皆名譽職であり、そこにこの制度の長所があります。けれども亦名譽職である爲に遺憾乍ら短所も亦其處から生ずるのであります。それは名譽職であるから自分の行動は相當自由である、従つて熱心な人を委嘱されるれば其の効果が果がり不熱心な人を委嘱される時には自然成績不良を免がれないのであります。それで其の選擇に就ては十分の考慮を拂はなければならぬのであります。不熱心なる方面委員の下に於てはカード階級の人々が漏救の儘に放任せられると云ふ事が無いとも限らないのであります。故に是は大いにお考を願ひ度いと思ふのであります。無給の委嘱と云ふことには今申し陳べた如く非常な長所があります。若し有給であれば打算的に成り易い、例へば地方への出張にしても無給の人は奉仕的精神を以て自辨に甘んずるが、有給の方は直ちに損得の考が起る。是は人間の性質で

あります。他人のために犠牲を楽しんで居ると云ふ所に無給の貴い長所がある。それで凡ての方面委員は奉仕の精神を以て救護や教化を徹底することが出来るならば、名譽職としての方面委員の長所を發揮し得たものである。其の長所を發揮するや否か、カード階級の人々を充分に保護し若くは救済することが出来るか否かの分れる所であります。山口縣の方面委員の方々におかれては其の點に十分なる御考慮を願ひ度いと思ふのであります。私は山口縣に於ける現状は審びらかに致しませぬ、私の今申した點は幾分理論に重きを置いた傾があります。何卒その弊害に陥らずに其の長所を充分に發揮せらるゝやう衷心から希ふ次第であります。

醫療施設

次に大きな問題は醫療問題であります。日本に於て現在救護を要するものはどれ程あるかと申しまするに、大體百六十萬人あります。百六十萬人の内現に色々の醫療機關に依つて治療を受けて居りまするものは大體九十萬人であります、其の九十萬人は大概が都會である。後の残された七十萬人は、今日迄閉却されて居つたのであります、それは農漁村であります。農漁村中で醫者のない村は大體全村の約三割からあります。醫者の無いやうな農村に於ては如何にカード階級で救護を要するものがあります。今日迄はそれが遺憾乍ら閉却されて居つたのであります。非常時日本として農漁村救済の必要が絶叫される今日に於て、土木工事だけが、所謂農村を救済する途ではない、そこに醫療問題のあります

ことは勿論であります。政府がそこに大なる關心を持ちまして、茲三ヶ年間非常時に對する匡救事業としてその間に三百萬圓程を支出致しまして、農村の醫療に力を致す事になつたのであります。けれども三百萬圓を以てしては到底七十萬人を治療することは出来ないものであります、それに對しては長くも皇室に於かせられましては、貴き思召を以て三百萬圓の御下賜金を賜はつたのであります。そこで政府の三百萬圓と御下賜金の三百萬圓と合して六百萬圓で三年の間、其の救護保護に當ることになつたのであります。所が濟生會も亦時代の情勢と、又特に皇室におかせられての貴き御仁慈に感激して基金の中から三百萬圓支出致すことになりました。それで現在では九百萬圓を以て三ヶ年の間即ち大體一年に三百萬圓づゝを以て農村の救護に充て、居ることになつたのであります。其の爲に農村が今日迄よりも救護の施設が相當に普及するに至つたのであります。今日の新聞に依りますると、政府に於きましては無料巡回醫療機關と云ふやうな機關を設けまして、此の非常時匡救が濟んだ後でも、町村に對して、無料救護施設機關を設けやうと言つたやうなことが出て居りましたが、私等も切に斯かることを希望する譯であります。

一體疾病といふものは、貧困の原因の大部分を占めるものでありますから、病氣は出来るだけ早く救治せねばならぬものであります。所が九十萬人と云ふ都會の貧困者は幸に各種の施設に依つて救護されて居りますけれども、農村が閉却されて居りましたのを農村の救護事業も今申しました程度に進展致して來たのであります。併し三年の後はどうでありますか、政府に於て巡回救護機關を普遍的に設けられ

るならば幸であるが、若しさうでなければ救療機關は再び閉塞の已むなきに至るのでありますから、農村の方々に於ては或は政府に請願し、或は輿論に訴へ民間の力に依り、此の事業の繼續するやう御盡力を願ひ度いと思ふのであります。併し斯う云ふ救療機關と云ふものは單に救療だけで済むものではありませぬから、若し諸君が更に進んで、所謂醫療組合制度を設けられるならば更に上々と存じます。

賀川豊彦氏が東京に於て醫療利用組合を設けて居るのであります。現今では維持が非常に困難な状態であります。併し今後は矢張り醫療利用組合のやうな組合制度に依つて、病氣に罹つた場合、其の組合で共済するとか、互助するとかと云ふ事が、單に救療して貰らうと云ふよりは進歩したやり方でありませぬ、現在の經濟機構の中に於て、其の機構の弊害から免がれて、共済的な醫療組合と云ふものに迄進展することは今後の私等の爲すべき努めでありませぬ。そしてそれは廣い意味に於ける社會事業でもありません。けれども此の醫療組合を作ります場合、之に反對する團體の中に醫師會があります。其の醫師會は全國的のものと地方的のものとがあります。時としてはこの醫師會が猛烈に反對しますが、併しそれは醫師會の反對すべきものでないと私は信じます。反對の是非は姑く置きまして、今日では多數醫療組合制度は許可されて居りますし、今後も亦許可なるのであります。切に今後の發展を切望致します。外國に於ては英國は勿論、其他の國に於てもこの醫療組合は非常に發達して居りまして、醫者の大部分は開業醫として獨立に開業して居るよりも、醫療組合の囑託醫になつて居る數が多いと言つても宜い程であります。それは多年の經驗上さうなつたのでありまして、それが合理的なやり方なのであります。で

是非其の點迄進んでお考を願ひ度いのであります。

兒童保護事業

其の外農村に必要なことは、矢張り兒童保護事業であります。兒童保護に對しましては山口縣では各種の方面に力を盡してお居でのやうであります。兒童保護協會が數ヶ所に設けられてあるやうに伺つて居りますし、又農繁期託兒所は最近五百を算すると言ふことであります。此の五百と云ふことは絶對數から云ふならば兵庫縣では或は五百以上に達して居るでありませうが、人口の比例から言つたならば山口縣は季節保育所の數正に日本第一と申すことが出来るのであります。日本第一は即ち世界第一なのであります。歐米には獨逸と佛蘭西には季節保育所が多少設置されて居りますが其の以外にはないやうであります。山口縣のは僅か一週間か十日と云ふやうに開所の日數は短かいのであります。兎に角徹底して居るのであります。更に之を八百乃至千にも達しやうと云ふ意氣込みであると聞いて居りますが大いに歎賞すべき事でありませぬ。

農村を救ふ道は多々ありますが兒童の方面から農村を救ふことは極めて必要なことであります。季節保育所の外、公設産婆の如きも必要であります。之が普及を希望致しますが、公設産婆と共に助産組合制度を奨励したいと思ふのであります。最初に起つたのは新潟縣と存じます。それから青森縣と島根縣とに起りましたが、外の縣はまだないと思ひます。新潟縣におきましては一口十錢づゝの掛金を致して

居るのであります、そして其の掛金に依つて産婆を備ふのであります、それで分娩の際には大體無料で助産をして貰ふのであります。さう云ふ制度になつて居るのであります。之は分娩の際公設の無料産婆に掛かると云ふのではなく、自分等の独自の力に依つて適當な産婆を備ひ、さうして自分が組合員の一人として分娩の際に適當な保護を受けると云ふことなので、是は進歩的合理的なやり方であります。この點をお考を願ひ度いと思ふのであります。

更に近頃制定された、児童虐待防止法の如きも是非御研究を願ひ度いのであります。児童虐待防止法に該當する子供は全國に一萬二千人あると申します。大體等は十四歳以下の子供であります。多くは街頭に於て物賣を致すとか、乞食をなすとか、或は輕業を致すとか、或は藝者酌婦とか言つたやうな十四歳以下のものを禁止し若くは制限する譯なのであります。併ながら街頭に出て何か賣るものが總て十四歳以下で禁止されると云ふことではありませぬが、花を賣る女もありませんが、それは十四歳以下と雖も届出をして許可を得るならば宜しいのであります。それには働く時間に制限があるのでありますから夜遅く迄働くことはいかぬとか、朝は六時以後からでなければ働られぬとか言つたやうな制限はある譯であります。色々の規定はありますけれども、それは一々法律に於て禁止される譯ではありませぬ。又家庭内に於ての虐待もあるのであります。然し虐待とは何ぞやと云ふ問題にもなるのであります。事實上之が発見とその認定などは多少困難であります。無論虐待をする事は禁止され、それを犯せば處罰される譯であります。さう云ふものを合計致しますと、今申した一萬二千人内外あるのであります。

斯う云ふ子供等を保護すると云ふことは、此の子供を土臺にして考へましても、また社會事業の立場から考へましても、國民的に考へましても極めて必要な事であります。然るに今日まで保護の途が講じられなかつたことは非常に遺憾なることであります。所が幸ひ今回児童虐待防止法が出来まして之に該當する児童を保護する事になりましたのは、児童保護の立場よりするも非常に重大な意義を有する次第であります。其の問題に就ても充分御検討を願ひ度いのであります。

生活改善

更に最後に申上げたいことは生活改善の問題であります。生活改善の問題は山口縣に於ては社會課の御擔當のやうに伺つて居ります。農村の生活を合理化する爲にはどうしても、是が必要であると思ふのであります。貴縣に於てはそれに就きましては色々の方法を講じて居らるゝやうに伺つて居ります。この點大いに人意を強ふするものがあるのであります。私は生活改善の一つとして、若くは社會事業の一つとして禁酒問題を諸君の前に提供したいと思ふのであります。

生活改善の内に於て禁酒問題は非常に大きな問題であります。殊に今日農村の自力更生が叫ばれて居ります時に、この問題は決して之と没交渉でないであります。それで近頃は禁酒運動がまだ酒を飲まない所の小學校、中學校程度の男女の生徒に進出し、此等生徒に對し禁酒の精神、飲酒の害毒を教育しやうと云ふ方法が大分進んで參つたのであります。併しながらそればかりではない、總ての人々に對

し私等は絶對禁酒を提唱したのであります。現在我國に於ては禁酒村が約十七ヶ村あります。高知縣の或る村を加へますと十八ヶ村となり、その他制限禁酒團體が百十程あります。尙全國に禁酒團體が三千百ありまして、禁酒會員が三十萬人程あります。第二師團は曾ては禁酒師團でありました。是は井上中將が師團長で在られました時に其の方面に非常な力を盡され其の結果禁酒師團になりましたことは諸君の御承知の所であると思ひます。無論個人／＼が絶對に酒を飲んだか飲まぬかと云ふことは別でありませんが、兎に角軍隊が酒を飲まないと思ふその意氣は實に貴いものであります。井上中將は御承知でもありませんが、故井上博士の令弟であります。井上博士は先年東京府知事で逝去されましたが、多年内務省にあつて自治民育及び社會事業の開發に努力され、社會事業の今日あるは井上博士の指導に待つもの頗る多いのであります。その令弟たる井上中將が今日禁酒運動の爲に全力を盡されて居るのであります。之は禁酒運動が現代に於て如何に必要であるかを體驗された結果に外ならないと思ふのであります。

一體農村ではどれ程酒を飲むかと云ふにそれは村に依つて素より一様ではないが、或る村の調査の結果に依れば村費六萬圓で、飲酒料七萬五千圓と云つたやうなのが必しも少くないのを發見したのであります。況んや教育費よりも飲酒料の方が多いと云ふ農村は決して少なくないと云ふ状態なのであります。然らば一ヶ年に日本全體としてどれ程酒を飲むかと云ふと、それは時に依つて多少の變化はありますが、大體十五億圓の酒を消費致すと申して居ります。今では幾らか少くなつて居るでありませうが、假りに十五億圓と致せば、六千萬石の米を一石二十五圓に賣つた價格であり、又之を一圓紙幣にして積

重ねますと、富士山の高さを五十三倍すると云ひます。それ程に日本人は酒を飲んで居ります。酒を飲むのは無論日本人だけではありません。併しながら非常時日本、國際聯盟を脱退せなければならぬ運命に直面した日本、滿洲問題を控へて居る日本、東洋の一角に於て世界の平和を維持しなければならぬ日本又實際さうであるべき日本に於て、十五億圓の酒を消費して其の爲に都會も農村も共に疲弊して居る。特に其の疲弊の重大な原因の一つは農村の飲酒にあると云ふことを數字の上將また實際の上にて肯定することが出来るならば、非常時日本に直面せる余等は奮然起つて禁酒すべきは國民の採るべき正しき態度であると言はざるを得ないのであります。

私は斯る意味に於て、諸君の多くの方々に特に方面委員の各位に農村に於て、出来るだけ禁酒の獎勵をお願し度いと思ふのであります。私は自分のことを申上げては失禮かも知れませんが、私は多少波瀾に富んだ生涯を送つたと申して宜しいのであります。併し私は自分の生涯の六十幾年間未だ嘗て一滴の酒を口にした事はない。その理由は私は酒は個人的にも、社會的にも、有害であると云ふ信念に基いたのであります。私は外に誇るべきものは何もないが、若し假りに誇るべき一事があるとすれば、私はその信念に基いて、一滴の酒をも飲まなかつたと云ふことであります。希くば諸君に於ても自己のため町の爲め、將また民族の爲に、絶對禁酒を生活改善の中に加へて御盡力あらん事を願ひ度いと思ふのであります。

畏れ多くも 今上陛下に於かせられましたは、未だ嘗て酒杯をお手にされたと承はつて居

ります。斯る 陛下を戴いて居る我々國民は、陛下の御聖慮に對しても酒を禁すべきものだと信じます。酒の害は今更喋々申上げる必要はない、或は酒の利益を説く人もありませう、併しながら公平な見地に立つて考ふる場合、酒は極めて有害である、單に習慣である、或は娛樂であると云ふ一事を以て酒杯を避けることの出来ない人もあります。私はそれを頗る遺憾と思ふ。又方面委員各位の如きは假令今日迄さう云ふ習慣に陥つてお居でになりましたも社會大衆の生活が如何に悲慘であるかを目撃するならば自分の娛樂、自分の慣習は敢然之を捨てねばならぬとの覺悟を持つて戴きたい。私は之を衷心から願はざるを得ないのであります。

非常時日本と社會聯帶

以上の如きものが農村社會事業の全部ではない。併しながら相當重要なものであると私は信ずるのであります。非常時日本の現時に於て私等の使命は何であるか、何故私等が社會事業を行はねばならぬのであるか、と云ふ此の使命觀に付て考へますならば、是は社會は少くとも連帶責任である、共存共榮である、相互依存である、吾々が斯る位置に立つて居るのも自分だけの力ではない、是は總て社會依存的のものである。それに依つて吾等は社會連帶の力に依つて社會的の幸福を得て居るのであります、從つて社會的に不幸な状態に陥つて居るものがあれば、それに手を延ばして之を救ふと云ふことは、社會全體の立場から考へても必要であるのであります。

今日迄は農村は比較的閑却されて居つた、その理由の一つは我國固有の家族制度に依つて扶養義務が實行されて居つた。又隣人に對しては隣保相扶と云ふものがある。外國に在つては斯くの如きは古代における歴史的存在である。この制度や習慣が、近來まで日本の津々浦々迄普及して居つたのである。併ながら今日は家族制度に依る扶養義務にしろ、又隣保相扶にしろ今日の如く窮乏した農村に於て果して實行し得らるゝや否やである。事實不可能に近くなつたのである。そこで農漁村問題は大きな社會問題となり、一時に國民の關心を惹き起すに至つたのである。そこで國家の一時的匡救は別として其の家族制度の考や、隣保相扶の情を廣めて、之を町村全體に國民全體に及さんとするのが社會連帶觀念よりする社會事業の任務であります。でありますから農村が今日迄閑却されて居つたとすれば、是は都會よりも必要が少なかつたことにも一つの理由であつたのであります。今日では都會と共に或る意味に於ては都會よりも一層窮乏に陥つて居る此の農漁村をば封建時代の傳統的考にのみ委して居ることが出来ないであります。農村の先覺者は立つて農村を救ひ、立つて農村のカード階級、要救護者を救ふことは、社會連帶責任に觀て然りであり、之が社會事業の使命である。私は斯る意味に於て非常時日本と社會事業の使命と題して卑見を披瀝した次第であります。

昭和九年二月五日印刷
昭和九年二月十日發行

發行人

山口縣廳內
財團山口縣社會事業協會
常務理事 井口正夫

印刷人

山口市芳澤町
池部鴻

印刷所

同所
鴻文館

發行所

財團山口縣社會事業協會

終

4
2